

MORIRIN CSR レポート 2020

Corporate Social Responsibility Report

モリリンググループは、「誠実・和合・創造」の社是を実践するために、「CSR 行動指針」を定め、役員・従業員への浸透を通して、「社会から信頼される企業」を目指します。

世界の喜びにつながり、 未来の環境に貢献する

Top Message

モリリンは繊維専門商社として、世界中に独自のサプライチェーンマネジメント(SCM)を構築しています。グローバル化の進展により、事業活動をする企業は世界の動向に大きく左右されるようになりました。その大きな流れの一つとして「CSR活動」があります。企業の意思決定と事業活動には、社会や環境に及ぼす影響に対する、より責任を持った活動が求められるようになったのです。当社も、CSR活動をスタートしました。今まで以上に、オリジナリティにあふれ、機能的であり、かつ、持続可能(サステナブル)な社会に向けて注力した商品を提供し、お客様をはじめ、社員、関連・協力会社の人々とその地域の未来へ向けた充実した環境づくりに取り組んでまいります。

モリリン株式会社

代表取締役社長 森 正志

企業理念

モリリンは生活繊維を通し、「豊かな暮らしの創造」に貢献します。

お客様のビジネスに役立つ新たな価値の創出

繊維業界のグローバル化を見据え、海外では現地法人による内販事業を推進し、近年はアメリカやヨーロッパへも取引を拡大。お客様のビジネスにお役に立つ「新たな価値」を創出します。

モリリン流SCMの確立

お客様が求める商品を、売れるタイミングで売れる場所へ、競争力のある魅力的なプライスで提供する独自のサプライチェーンマネジメント「モリリン流SCM」を確立し続けます。

多様なニーズに対応するグローバルネットワークの構築

日本国内をはじめ、中国・アセアン諸国を中心とした生産・営業・物流拠点を展開。ローコスト、短納期、少量多品種など、多様なニーズに迅速に対応するグローバルネットワークを構築します。

未来への責任と使命

基本方針

モリリングroupの役員・従業員は、常にお客様、お取引先、従業員、株主、地域社会から信頼される企業を目指して、法令遵守およびCSR行動指針に沿って誠実に行動し、持続可能な社会の発展に貢献します。

- 1 お客様の豊かな暮らしの創造のために、いつもお客様の立場に立ち仕事をいたします。
- 2 お取引先と信頼を築くために、取引上の関連法令を理解・遵守し、誠実に行動いたします。
- 3 社員相互の和合を目指し、一人ひとりを尊重し、コミュニケーションを活発に取り続けます。
- 4 会社の信頼を守るため、正確な業務遂行の記録と相互確認、適切な情報開示に努めます。
- 5 地域社会からの信頼を高めるために、倫理的な行動および社会貢献活動を行います。
- 6 環境に配慮した事業活動を行います。

8つの「ために」を常に意識した会社づくり

CSR 行動指針

第1章 お客様のために

1) お客様の立場に立った高い品質を実現

お客様の立場に立つとは「お客様の豊かな暮らしの創造のため」に誠実に仕事をすることです。高い品質を実現するとは「イトからはじまる、すべてのコト」に対し、最高の成果を達成することです。常にお客様のお役に立つことを考え、行動します。

2) 安心できる商品開発・商品提供

法令基準やJISはもちろんのこと、お客様が安心できる基準で素材調達、開発、提供を行います。安心・安全は信頼の土台。私たちは常に素材の開発、選定、調達、製造、流通段階で想定されるリスクの低減化に努めます。

3) 公正な広告・宣伝

公平でかたよりのなく、お客様、お取引先に当社の商品等をお伝えします。お客様にありのままを正確にお伝えできるよう、誠実でわかりやすい広告・宣伝をいたします。

4) 個人情報の保護

仕事上取り扱うお客様の個人情報は、「情報セキュリティガイドライン」のもと厳重に管理します。ノートパソコンや外部の記憶媒体に顧客情報を保存、携帯し利用することや、脆弱なデータベースでの管理はいたしません。

5) お問い合わせ、苦情には誠意で

お客様からのお問合せ、苦情などには、全社員がモリリンの代表として常に迅速、正確、誠意を持って対応します。

■ 第2章 お取引先のために

1) 独占禁止法・不正競争防止法等を遵守

販売価格の拘束、発注者としての優越的地位の濫用の禁止。また、再販売価格の拘束の禁止、優越的地位の濫用を禁止します。

2) 創造的な価値の尊重

人の創作活動によって発生した「知的財産（発明、考案、意匠、著作物、商標等）」を慎重に取り扱います。

- ・Webサイトからの安易な流用の禁止
- ・商品開発における情報は、他者の権利に抵触していないか注意
- ・業務上のアイデアは自社の創造的価値として権利化を検討

3) 機密情報の保護

会社の機密情報を重要な財産として厳格に管理し、適切に取り扱います。不用意に機密情報を口外したり、流出させたりしません。また、他社の機密情報を不当に入手して活用することもいたしません。

4) 公私のけじめをつけた行動

職務の中で金銭物品等の利益を不当に授受することなく、社会一般の常識に則って行動します。取引先に不当に金品を要求することや、インサイダー取引は一切禁止します。

■ 第3章 従業員相互のために

1) 一人ひとりの人権を尊重

一人ひとりの人権を大切に、特にセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、いじめなどの人権侵害の禁止。そうした行為を受けたり、見かけたりした場合は上司や相談窓口に通報します。

2) 安全で衛生的な職場環境を維持

労働、安全、衛生にかかわるリスク管理を徹底し、快適な職場環境をつくります。また、心の病を防止するために風通しの良い職場を目指します。

3) 人材育成と公正な評価

「人事制度ガイドブック」に準拠して目標設定し、面談制度を通じた部下の情報収集、公正な評価を行います。また、従業員に能力開発の機会を作り、成長できる環境を整えます。

4) 活発なコミュニケーション

コミュニケーションを活発にすることで、信頼関係、協力関係が高まります。また、業務上のリスクを指摘しあうことで健全な職場環境も保持されます。立場・役割を超えて、相手の言葉に耳を傾け、相手への配慮を大切にしながら、言うべきことを適切に伝えます。

5) 会社の資産を保護

会社の有形、無形の資産を大切に取り扱い、仕事を効率的に進めるために活用します。資産の取扱いがわからないときは、必ず上司や管轄部署に確認して対応します。

■ 第4章 会社の信頼を守るために

1) 適切な取引手続きの遵守

仕入れ、売上の伝票処理など各種事務処理を、社内ルールに則って適切に手続きを行います。

- ・複数の人がお互い伝票処理を確認
- ・受発注、在庫管理、入金チェックの徹底
- ・適切な取引手続きの意義と手順への理解

2) 適切な情報開示

良い情報だけでなく、都合の悪い情報も速やかに報告します。

3) 創意をつくし経営の効率化と収益性を向上

継続的な利益創出と生産性の向上を図るために創意工夫に努めます。

■ 第5章 地域社会のために

1) 地域社会の一員としてのふさわしい行動

高い倫理観をもって行動を取り、地域からの信頼を獲得します。

2) 反社会的な個人、グループとは関与しません

反社会的な勢力が関わる企業、団体との取引および金銭の要求は断固として拒否します。新規契約や取引の際には特に注意します。

■ 第6章 環境に配慮するために

1) 持続可能な資源(材料、労働、エネルギー) 調達

資源を限りあるものと捉え、必要最低限の材料を調達した上で効率的に利用し、劣悪な労働環境や児童労働による調達は行いません。

2) リサイクルや廃棄物の削減

環境に配慮したクリーンで安全な資源を優先的に使用し、使用後も再利用や廃棄物の削減により環境保全に努めます。

■ 第7章 製品の安全と品質のために

1) 品質の継続的改善

高技術水準で安定した信頼性の高い製品を継続的に提供するため、QMSの確立・運用・改善に積極的に取り組みます。

*QMS…Quality Management System(品質マネジメントシステム)

2) サプライチェーンにおけるCSRの推進

当社だけの取り組みではなく、購買先、委託加工先、お客様、物流会社と協働し、サプライチェーン全体でCSRの取り組みを進めます。

■ 第8章 法令遵守のために

1) 国、地域の定める法令を遵守

国内外・国際的な法令、並びにそれらの精神を遵守し、関係部署と連携を取りながら誠意を尽くし事業活動を行います。

2) リスクマネジメントの強化

不測の事態には迅速な対応と的確な情報開示を行い、法令遵守の意識に基づいた行動を徹底するとともに、再発防止体制を構築します。

CSR室発足からセミナー開催、 当社独自のプロジェクトなど

モリリンのCSR活動

CSR室を発足

世界的なCSR遵守の流れを受け、日本の繊維産業でも、特に生産工場におけるCSR監査の動きが高まりつつあります。CSR監査とは、生産工場における労働者の人権、労働安全、環境保全などの法律や要求事項を守っているかどうかを監査するものです。そこで、当社では2018年に『CSR行動指針』を作成。さらに、「CSR室」を新たに組織化して、次の2点を推進してきました。

1 取引先を選択するための指標作成と生産工場の現状調査

長年かけて築いた“信用”を守り続け、高い倫理観を保持していくために、CSRの観点から工場チェックシートを作成し主要工場に配布、実態調査を行い、272社の協力を得ました。

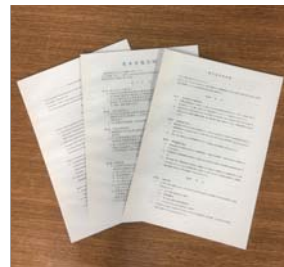
2 取引基本契約書の重要性を 共通認識

社会的責任を果たすためには、当社と取引先との役割、責任を明確にし、共有認識する必要があります。そのために、改訂した取引基本契約書を106社に送り、契約を交わしました。他取引先にもこれから順次進めていきます。また、SCM統括部が営業部の協力を得て、取引先の工場監査実施に対し、事前に環境整備を調査するとともに、工場認定に向けた管理、指導を行っています。

「CSR室」組織図



アセアン地区の工場を現状調査



取引基本契約書

「モリリンエコプロジェクト」始動

SDGs(2030年までの持続可能な国際開発目標)の考え方を踏まえ、サステナビリティ(持続可能性)を会社の取り組みとして「モリリンエコプロジェクト」(M・E・P)を始動。テーマ(哲学)を、モリリン・サステナブル・フィロソフィ「地球環境と資源を守り、健康に暮らせる持続可能な社会の実現に貢献する」～イトからはじまる、すべてのコトへ～としました。



SDGs (2030年までの持続可能な国際開発目標)

「モリリンエコプロジェクト」

地球環境と資源を守り、健康に暮らせる
サステイナブル(持続可能な)社会の実現に貢献。



持続可能な開発のためのアクションを取るべき企業だと自覚し、協力企業と共に実践する



人種・国籍・ジェンダーの平等の理念・希望の追求こそが具体的アクションにつながる



繊維商社として素材～製品まで責任を持ち、サステナビリティの実現に取り組む



モリリンエコスタンダード(M.E.S)

エコ素材及び生産時のトレーサビリティ(追跡可能性)保証ルールをモリリンエコスタンダード(M.E.S)として規定。その規定した素材-モリリンエコテキスタイル-(M.E.T)を社内外、そして顧客にも積極的に《つかい、つくり、協業し、再利用する》循環型スキームの活用促進を目指します。

※トレーサビリティとはその生産物が消費者の元に届けられるまでの経路、あるいは廃棄されるまでの経路を追跡できる状態、可視化できる状態にすること。

森林保全管理活動

モリリンは岐阜市の郡上市に217ヘクタールの山林を保有しています。環境安全、里山住人の生活に役立つ山林の管理を行うことによって、FSC®認証を受けています。



世界寺子屋運動

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の維持会員に加入し、ラベル(下げ札)発行によって拠出する協賛金で、その活動支援をしています。



健康経営

異なる文化、あらゆる世代の人権を尊重し、コンプライアンスの重要性を共通認識とする企業との取り組み。適切な労働環境下で、適切な生活の確保に努める。



羽毛布団の回収・再生システム

自社生産・販売している羽毛布団の下取り・回収を実施し、再利用可能なダウンへと再生するシステムを運用しています。



2018年より当社で環境整備を進めてきた健康経営が、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定されました。健康経営優良法人制度とは、健康経営に精力的に取り組む企業を、業績の向上が期待される法人として紹介し、会社のブランドイメージ向上と、人材採用力UPの環境づくりを推進するものです。

104期には「健康経営推進委員会」を組織化し、さらに調和のとれた社内環境を提供し、ワークライフバランスの向上と持続可能な社会への貢献を目指します。



大規模法人部門の認定証

健康経営の活動内容

健康経営とは、健康管理を経営的視点から考え、業務の生産性を高め、戦略的に企業価値を高めること、および、社会的責任を向上しようとする考え方です。当社の健康経営の方針は『社員一人ひとりがお客さまの笑顔に貢献するとともに、貢献する喜びを持って生き生きと仕事ができる企業』とし、具体的な活動内容は、健康診断の100%受診の推進、健康増進および推奨策(全社館内禁煙、自転車通勤の保険加入等)、長時間勤務に対する対策(退館時間最終20時のルール等)、ストレッチ体操の実施、社内サークルへの費用補助、コミュニケーションの場の設置および朝食の提供、人間ドック費用の一部会社負担など、社内に対する健康経営のアピールを行っています。



ストレッチ体操を実施



サーフィン部



サッカー部



テニスサークル

地域貢献

英国発のツイードランの協賛

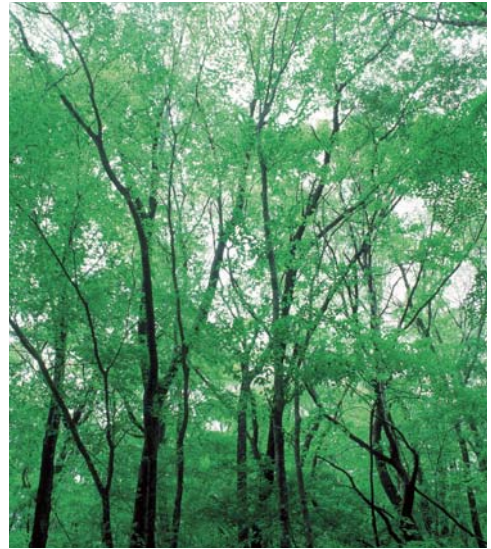


イギリスで生まれたファッションと自転車のイベント「Tweed Run」の協賛を行っております。「The Tweed Run」は、2009年にロンドンでスタートし、ツイード素材のファッションに身を包み、自転車で街を楽しく走るイベントです。現在は、ニューヨークやフィレンツェ、カナダなど世界各国でも独自に開催されています。日本では、2012年東京が初開催でその翌年、2013年に東京及び愛知県で開催され今に至ります。



モリリンの郡上の山林

約100年前、スギやヒノキを自社で植え育てる植林事業を通して環境保全活動を始めました。岐阜県郡上市に所有の山林面積は、FSC®認証*を受けた217ヘクタール。水源養成のほか、茸、木の実、山菜など林産物の持続的生育、二酸化炭素吸収による環境保全などの役割を果たしています。自社保有の山林は年間1,358tの二酸化炭素を吸収すると試算。現在は、郡上森林組合に管理業務を委託し、共同で森林保全活動を行っています。



*世界で最も信頼された森林認証制度
岐阜県グループFSC®-C004268

FSC®について

FSC®(Forest Stewardship Council®)は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営しています。

国際貢献・国際支援活動

カンボジアの寺子屋建設へ寄付

日本ユネスコ協会連盟の維持会員に加入し、モリリンエコスタンダード(M.E.S)規定素材使用時に発行する、モリリンエコテキスタイル(M.E.T.)ラベルを作成し、ラベル発行による協賛金にて、世界寺子屋運動を通じて、カンボジアの寺子屋建設の資金の一部を寄付しています。



カンボジアの子供達



カンボジアの寺子屋では、貧困などのために教育機会に恵まれなかった大人や子供たちが、より良い将来を目指し、読み書き、職業訓練、初等教育など、幅広い学びに取り組んでいます。

モリリンエコテキスタイル(M.E.T.)ラベルは、2種類で展開

PURE
M.E.T.
Moririn Eco Textile
Managing Eco Future

PURE M.E.T.ラベル
(エコ素材90%使用)

M.E.T.
Moririn Eco Textile
Managing Eco Future

M.E.T.ラベル
(エコ素材30%使用)

サステナブルな春夏総合展示会を開催

令和の新しい時代を迎えるにあたり、サステナブルをモリリンらしく簡潔に表現するメッセージを随所に込めた、総合展示会を開催しました。SDGsの流れも踏まえ、その視点から今までの業務、取組み、開発素材等の再解釈と同時に、新たなスキームの提案を行いました。また、取引先と一緒に考える「コンセプトルーム」を設置。商品をつくる側、売る側に共通するサステナブル志向への理解が深まりました。



つくり手と売り手がともに考えるコンセプトルームを設置



コンセプトルームに掲示した消費者意識調査パネル



Color Installation



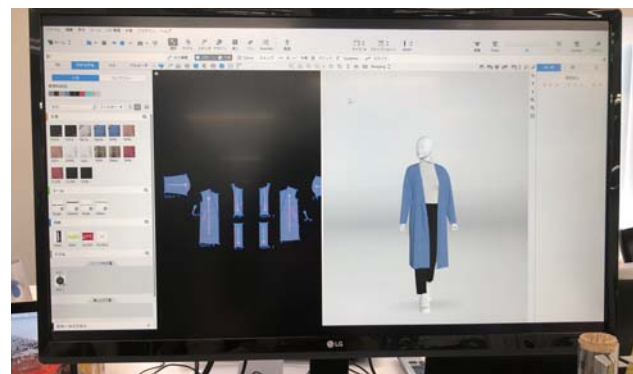
告知ポスター



サステナブルを当社らしく簡潔に表現した展示

3D CAD「ブラウズウェア」導入

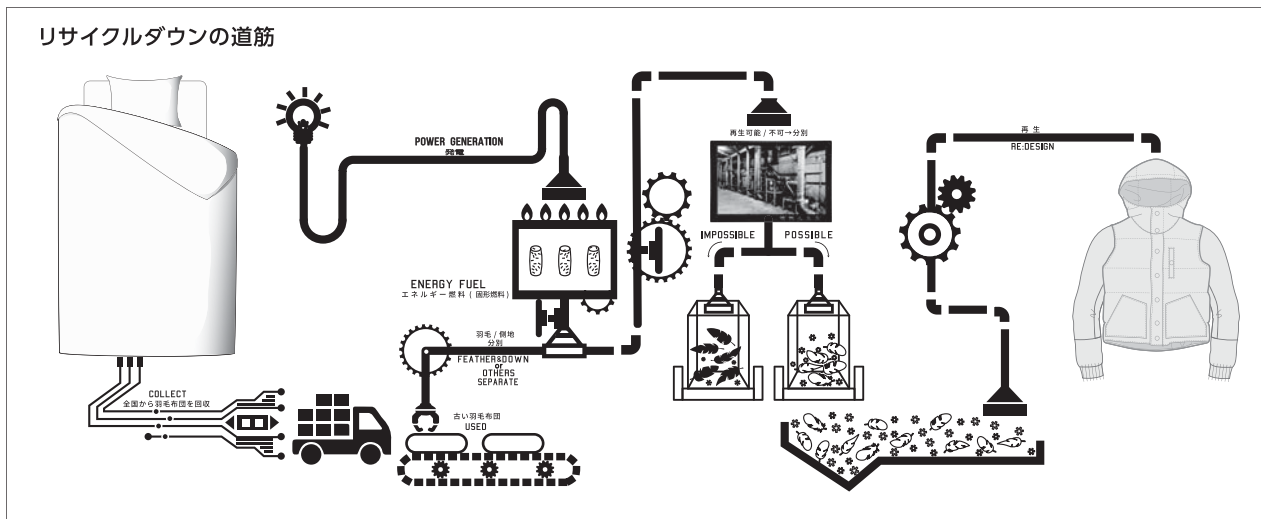
当社は2019年3D CAD「ブラウズウェア」を導入した。顧客との商談で企画設計プロセスのリードタイム短縮や、サンプル作成コスト削減を狙ったもので、すでに有力アパレルや通販企業との商談で活用が始まっている。



3D CAD「ブラウズウェア」

リサイクルダウン

当社で生産・販売をした羽毛布団の下取り・回収を実施して、それを選別・洗浄してからリユース可能な羽毛をダウンジャケットなどへ再生します。また、側生地などは固形燃料へと用途をかえるリサイクルシステムを構築。回収、分別、再生までを一括で管理しています。



環境経営

BLUELOGY (ブルーロジー)

ブルーロジーとは、従来の技術にはない、新規技術による非フッ素撥水加工。地球環境の資源を守り、健康に暮らせる持続可能な社会の実現に貢献するというモリリンエコプロジェクトの一環とし、TFJグローバル社との取組みをスタートさせました。繊維製品の安全証明「エコテックス®スタンダード100」の中でも最も厳しい基準、CLASSIのAppendix6で認証取得。有害な化学物質が含まれない加工のため、安心してお使いいただくことができます。



有機フッ素化合物で
問題になっている成分

この2つの成分は、いったん体内に取り込まれると排出されにくい性質があること、更には長期にわたり摂取した場合に毒性を発現することが環境・健康安全上の懸念材料とされています。

エコテックス® スタンダード 100

エコテックス®スタンダード100は繊維製品の安全性を保障する規格(本部はスイス)世界中の法規制を網羅し、この認証があれば全ての国の安全基準に適合します。(規制値は毎年更新)

製品 CLASS 区分

- CLASSI : ベビー対応
- CLASSII : 肌着向け
- CLASSIII : 外衣向け
- CLASSIV : インテリア向け

規制値及び規制物質リスト

- Appendix4 : 一般
- Appendix6 : Detox キャンペーン



BLUELOGY は CLASSI の Appendix6 を認証取得 (最も厳しい基準)

「MIZICA PROJECT」(ミジカプロジェクト)

「MIZICA PROJECT」(ミジカプロジェクト)は、*制菌加工・BIO SHIELD(ビオシールド)の認知拡大と社会貢献・災害対策を目的としたプロジェクトです。具体的には、「EMERGENCY KIT」(災害キット圧縮パックセット)の寄付活動を進めていきます。まずBIO SHIELD加工を施した商品を賛同企業に納品する際に、1枚あたり5円をお預かりします。次に、モリリンからも賛同企業と同額を拠出したうえで、「EMERGENCY KIT」の作成、備蓄を行います。そして、台風や地震などの災害が発生した際には、賛同企業と共同して速やかに被災地に送り届けられるシステムを構築していきます。



「MIZICA PROJECT&BLUELOGY展」



オレフ南青山ショールームにて



東京支店フォレストホールにて

「EMERGENCY KIT」(災害キット圧縮パック)の中身

MIZICA PROJECT
EMERGENCY KIT

<災害キット圧縮パック内容：メンズ>

MEN'S



EMERGENCY KIT
COMPRESSION PACK



1) BIO SHIELD T-SHIRT



2) BIO SHIELD SHORTS



3) SAFETY SLIPPER



4) BIO SHIELD TOWEL



5) PRODI MASK

ITEMS

1) BIO SHIELD T-SHIRT	1PCS (BLACK)
2) BIO SHIELD SHORTS	1PCS (BLACK)
3) SAFETY SLIPPER	1PCS (BLACK)
4) BIO SHIELD TOWEL	1PCS (BLACK)
5) PRODI MASK	1PCS (WHITE)

BIO SHIELD (制菌加工) をする事で、臭いの原因菌の増殖を防ぎ清潔が長く続くウェアのセット。インナーに加えコロナ禍での避難所生活を想定したマスクのセット。タオルも汚れが目立たない様に黒の物を封入しています。スリッパも耐菌抗菌性能の物をセットし、足元の安全を守ります。

MIZICA PROJECT
EMERGENCY KIT

<災害キット圧縮パック内容：レディース>

LADIE'S



EMERGENCY KIT
COMPRESSION PACK



1) BIO SHIELD T-SHIRT



2) BIO SHIELD SHORTS



3) SAFETY SLIPPER



4) BIO SHIELD TOWEL



5) PRODI MASK

ITEMS

1) BIO SHIELD T-SHIRT	1PCS (BLACK)
2) BIO SHIELD SHORTS	1PCS (BLACK)
3) SAFETY SLIPPER	1PCS (BLACK)
4) BIO SHIELD TOWEL	1PCS (BLACK)
5) PRODI MASK	1PCS (WHITE)

BIO SHIELD (制菌加工) をする事で、臭いの原因菌の増殖を防ぎ清潔が長く続くウェアのセット。インナーに加えコロナ禍での避難所生活を想定したマスクのセット。タオルも汚れが目立たない様に黒の物を封入しています。スリッパも耐菌抗菌性能の物をセットし、足元の安全を守ります。

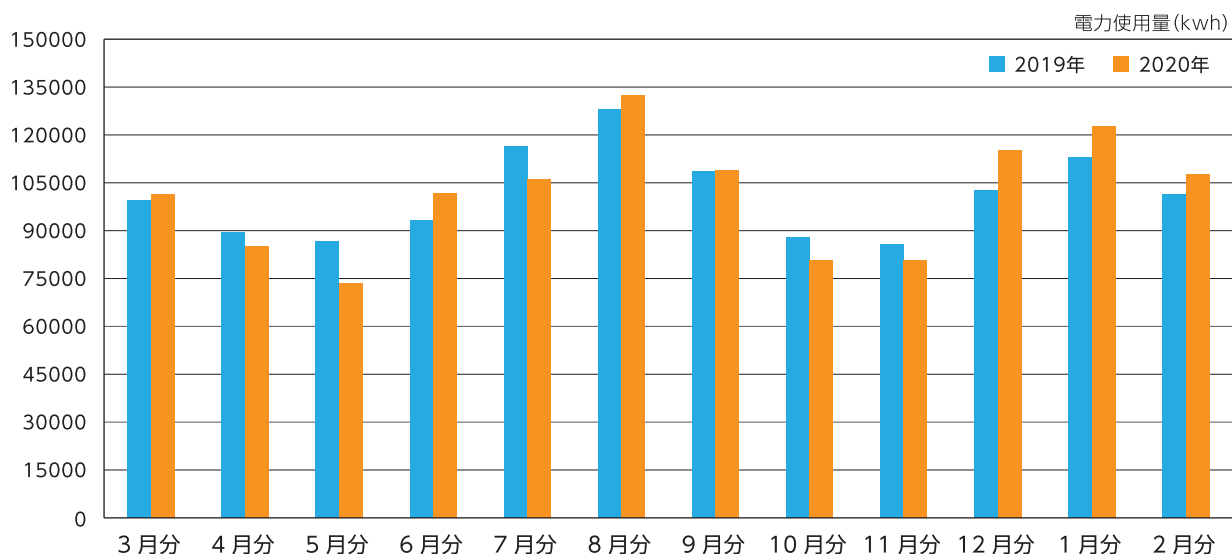
11

事業活動と環境負荷の全容

2020年度実績

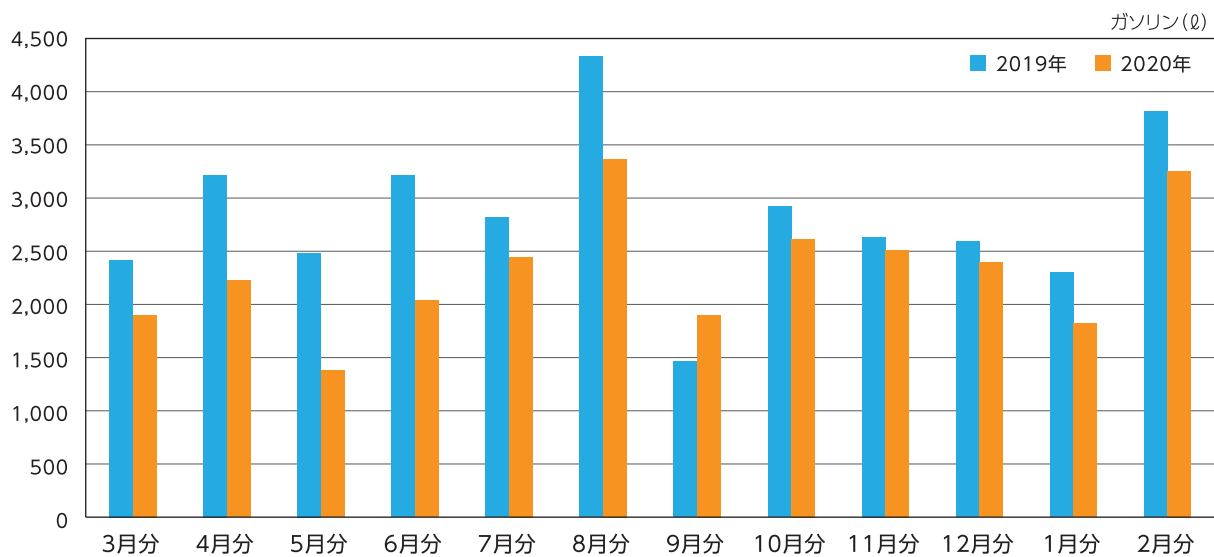
モリリンでは、商品・調達・生産・物流・販売・オフィス、社会貢献の各領域でさまざまな環境保全活動に取り組んでいます。環境負荷の低減に取り組むために、環境データの把握に努めています。

環境負荷の実績について(電力)



年度	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	合計
2019年	99,564	89,341	86,664	93,286	116,533	127,900	108,678	87,835	85,712	102,686	112,887	101,496	1,212,582
2020年	101,531	84,927	73,402	101,745	106,010	132,341	108,964	80,086	80,797	115,290	122,729	107,759	1,215,581

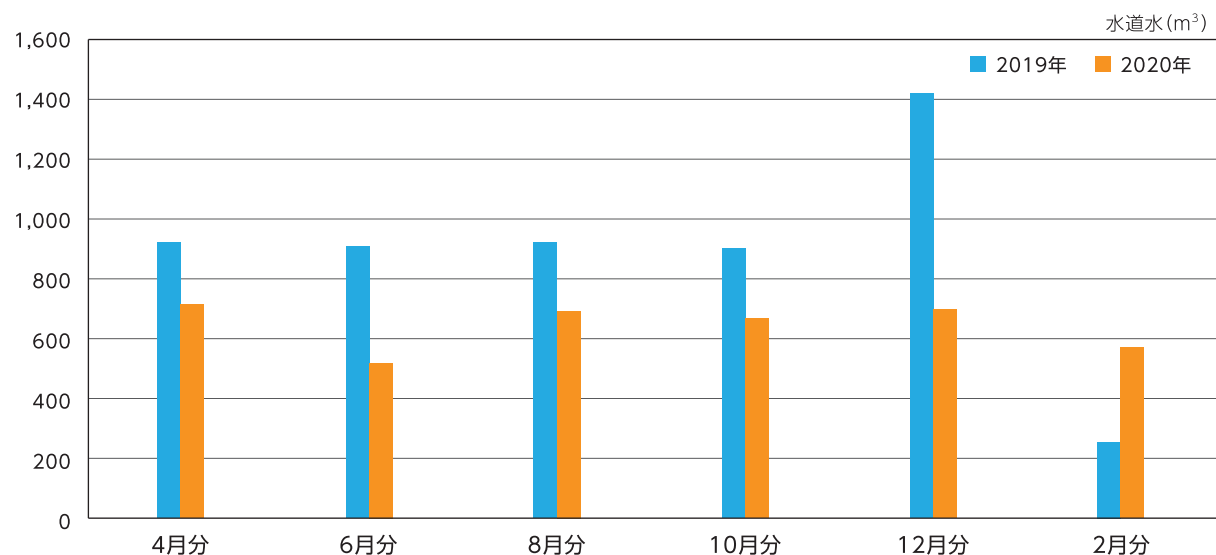
環境負荷の実績について(ガソリン)



社用車ガソリン(ハイオク含む)使用量(ℓ)

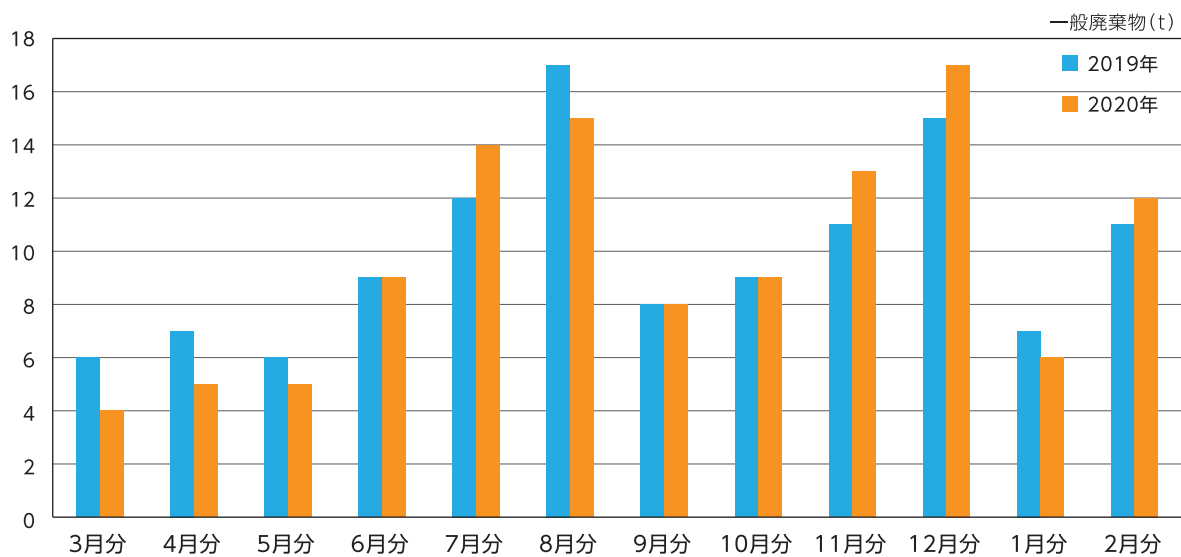
年度	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	合計
2019年	2,418	3,216	2,483	3,211	2,818	4,329	1,466	2,919	2,633	2,590	2,303	3,815	34,202
2020年	1,900	2,223	1,381	2,036	2,445	3,366	1,902	2,614	2,511	2,394	1,820	3,255	27,847

環境負荷の実績について(水道水)



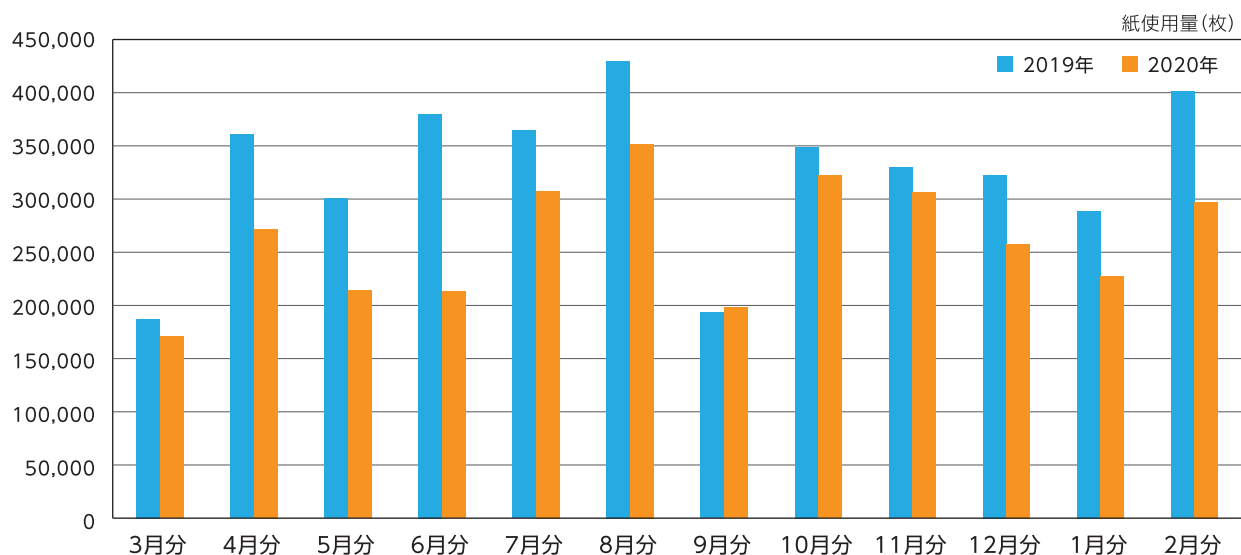
年度	4月分	6月分	8月分	10月分	12月分	2月分	合計
2019年	921	907	923	901	1,420	255	5,326
2020年	715	519	692	667	698	571	3,862

環境負荷の実績について(一般廃棄物)



年度	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	合計
2019年	6	7	6	9	12	17	8	9	11	15	7	11	118
2020年	4	5	5	9	14	15	8	9	13	17	6	12	117

環境負荷の実績について(紙)



年度	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	合計
2019年	187,305	360,931	300,804	379,951	364,325	429,776	193,555	349,813	329,636	322,478	288,855	400,464	3,907,893
2020年	170,582	271,791	214,123	212,811	307,615	351,664	198,141	322,193	305,887	257,713	227,768	297,223	3,395,109

持続可能な未来に、必要な会社であるために



モリリン株式会社 CSR室

〒491-8610 愛知県一宮市本町四丁目22番10号
TEL<0586>25-2281 (大代表)

<http://www.moririn.co.jp>